

えて居る、江戸に這入て往來の右側の家で小僧が鋸の鎌の目を叩て居る皮を鎌の下に敷いて刻んで娘々と出来る様子だから私は立てたまて之を見て心の中で披々大都會なる哉、途方もない事が出来るもの哉、自分等は夢にも思はぬ船の鏡を拾へやうと云ふひとは全く云ふやうな聲けで少年の時から讀書の外は俗考へたふともない然るに小供がアノ通り道に居るほど途方もない工藝の進んだ場所だと思ふやうな事ばかりして俗な事ばかり考へて居て年を取ても兎角手先きの細工事が面白くて動もすれば飽だの鑑な買集めて何か作つて見やうと云ふ美術と云ふ思想は少しも無い、平生萬事至極豪風景で衣服住居などに一切頗着せず如何といふ家に居てもドンナ着物を着ても何とも思はぬ着物の上着か下着かソレ構はぬ況して流行の模様などを考へて見たふともない程の不風流なれど何か私に得意があるかと云ふは田舎ながら手に少し織文のある織から自然に養ふ意匠でせう

か二十年間の辛苦始めて目的を達したりとは政治商賣も披々割に合はぬものかなと嘆息に堪へざるみとならん實際の事實にして少しまるく心を離にして考ふるとき何人も之を認むる苦なれども浮世の俗情より見るときは昨日まで民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走したるもののが今日は堂々たる政府の大臣とは蘇入たる次第なり斯る無造作のものでは民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものは無論、或は更らに一步を進めて世の道は是非とも政治に限るとして遂に一時の熱を催すは無論、或は更らに一步を進めて同窓同鄉もしくは舊來懇意なきの緣故を云々ならんには政治商賣も甚だ面白し否な立身出で民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものが今日あるを致したるものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ幸苦難を同うして今日あるを致したるものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ多年來の窮境その窮と與にしたるは單に自家の妻子のみならず即ち幾多の黨員毀はれもは堅しむに足らず特に新内閣は從来の官員をされどは自から其勞に酬いざる可ならず勿論に奔走するものは勿論考へたふともない然るに小供がアノ通り道に居るほど途方もない工藝の進んだ場所だと思ふやうな事ばかりして俗な事ばかり考へて居て年を取ても兎角手先きの細工事が面白くて動もすれば飽だの鑑な買集めて何か作つて見やうと云ふ美術と云ふ思想は少しも無い、平生萬事至極豪風景で衣服住居などに一切頗着せず如何といふ家に居てもドンナ着物を着ても何とも思はぬ着物の上着か下着かソレ構はぬ況して流行の模様などを考へて見たふともない程の不風流なれど何か私に得意があるかと云ふは田舎ながら手に少し織文のある織から自然に養ふ意匠でせう

か二十年間の辛苦始めて目的を達したりとは政治商賣も披々割に合はぬものかなと嘆息に堪へざるみとならん實際の事實にして少しまるく心を離にして考ふるとき何人も之を認むる苦なれども浮世の俗情より見るときは昨日まで民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走したるもののが今日は堂々たる政府の大

臣とは蘇入たる次第なり斯る無造作のものでは民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものは無論、或は更らに一步を進めて世の道は是非とも政治に限るとして遂に一時の熱を催すは無論、或は更らに一步を進めて同窓同鄉もしくは舊來懇意なきの緣故を云々ならんには政治商賣も甚だ面白し否な立身出で民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものが今日あるを致したるものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ幸苦難を同うして今日あるを致したるものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ多年來の窮境その窮と與にしたるは單に自家の妻子のみならず即ち幾多の黨員毀はれもは堅しむに足らず特に新内閣は從来の官員をされどは自から其勞に酬いざる可ならず勿論に奔走するものは勿論考へたふともない然るに小供がアノ通り道に居るほど途方もない工藝の進んだ場所だと思ふやうな事ばかりして俗な事ばかり考へて居て年を取ても兎角手先きの細工事が面白くて動もすれば飽だの鑑な買集めて何か作つて見やうと云ふ美術と云ふ思想は少しも無い、平生萬事至極豪風景で衣服住居などに一切頗着せず如何といふ家に居てもドンナ着物を着ても何とも思はぬ着物の上着か下着かソレ構はぬ況して流行の模様などを考へて見たふともない程の不風流なれど何か私に得意があるかと云ふは田舎ながら手に少し織文のある織から自然に養ふ意匠でせう

か二十年間の辛苦始めて目的を達したりとは政治商賣も披々割に合はぬものかなと嘆息に堪へざるみとならん實際の事實にして少しまるく心を離にして考ふるとき何人も之を認むる苦なれども浮世の俗情より見るときは昨日まで民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走したるもののが今日は堂々たる政府の大

臣とは蘇入たる次第なり斯る無造作のものでは民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものは無論、或は更らに一步を進めて世の道は是非とも政治に限るとして遂に一時の熱を催すは無論、或は更らに一步を進めて同窓同鄉もしくは舊來懇意なきの縁故を云々ならんには政治商賣も甚だ面白し否な立身出で民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものが今日あるを致したるものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ幸苦難を同うして今日あるを致したるものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ多年來の窮境その窮と與にしたるは單に自家の妻子のみならず即ち幾多の黨員毀はれもは堅しむに足らず特に新内閣は從来の官員をされどは自から其勞に酬いざる可ならず勿論に奔走するものは勿論考へたふともない然るに小供がアノ通り道に居るほど途方もない工藝の進んだ場所だと思ふやうな事ばかりして俗な事ばかり考へて居て年を取ても兎角手先きの細工事が面白くて動もすれば飽だの鑑な買集めて何か作つて見やうと云ふ美術と云ふ思想は少しも無い、平生萬事至極豪風景で衣服住居などに一切頗着せず如何といふ家に居てもドンナ着物を着ても何とも思はぬ着物の上着か下着かソレ構はぬ況して流行の模様などを考へて見たふともない程の不風流なれど何か私に得意があるかと云ふは田舎ながら手に少し織文のある織から自然に養ふ意匠でせう

か二十年間の辛苦始めて目的を達したりとは政治商賣も披々割に合はぬものかなと嘆息に堪へざるみとならん實際の事實にして少しまるく心を離にして考ふるとき何人も之を認むる苦なれども浮世の俗情より見るときは昨日まで民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走したるもののが今日は堂々たる政府の大

臣とは蘇入たる次第なり斯る無造作のものでは民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものは無論、或は更らに一步を進めて世の道は是非とも政治に限るとして遂に一時の熱を催すは無論、或は更らに一步を進めて同窓同鄉もしくは舊來懇意なきの縁故を云々ならんには政治商賣も甚だ面白し否な立身出で民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものが今日あるを致したるものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ幸苦難を同うして今日あるを致したものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ多年來の窮境その窮と與にしたるは單に自家の妻子のみならず即ち幾多の黨員毀はれもは堅しむに足らず特に新内閣は從来の官員をされどは自から其勞に酬いざる可ならず勿論に奔走するものは勿論考へたふともない然るに小供がアノ通り道に居るほど途方もない工藝の進んだ場所だと思ふやうな事ばかりして俗な事ばかり考へて居て年を取ても兎角手先きの細工事が面白くて動もすれば飽だの鑑な買集めて何か作つて見やうと云ふ美術と云ふ思想は少しも無い、平生萬事至極豪風景で衣服住居などに一切頗着せず如何といふ家に居てもドンナ着物を着ても何とも思はぬ着物の上着か下着かソレ構はぬ況して流行の模様などを考へて見たふともない程の不風流なれど何か私に得意があるかと云ふは田舎ながら手に少し織文のある織から自然に養ふ意匠でせう

か二十年間の辛苦始めて目的を達したりとは政治商賣も披々割に合はぬものかなと嘆息に堪へざるみとならん實際の事實にして少しまるく心を離にして考ふるとき何人も之を認むる苦なれども浮世の俗情より見るときは昨日まで民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走したるもののが今日は堂々たる政府の大

臣とは蘇入たる次第なり斯る無造作のものでは民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものは無論、或は更らに一步を進めて世の道は是非とも政治に限るとして遂に一時の熱を催すは無論、或は更らに一步を進めて同窓同鄉もしくは舊來懇意なきの縁故を云々ならんには政治商賣も甚だ面白し否な立身出で民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものが今日あるを致したるものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ幸苦難を同うして今日あるを致したものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ多年來の窮境その窮と與にしたるは單に自家の妻子のみならず即ち幾多の黨員毀はれもは堅しむに足らず特に新内閣は從来の官員をされどは自から其勞に酬いざる可ならず勿論に奔走するものは勿論考へたふともない然るに小供がアノ通り道に居るほど途方もない工藝の進んだ場所だと思ふやうな事ばかりして俗な事ばかり考へて居て年を取ても兎角手先きの細工事が面白くて動もすれば飽だの鑑な買集めて何か作つて見やうと云ふ美術と云ふ思想は少しも無い、平生萬事至極豪風景で衣服住居などに一切頗着せず如何といふ家に居てもドンナ着物を着ても何とも思はぬ着物の上着か下着かソレ構はぬ況して流行の模様などを考へて見たふともない程の不風流なれど何か私に得意があるかと云ふは田舎ながら手に少し織文のある織から自然に養ふ意匠でせう

か二十年間の辛苦始めて目的を達したりとは政治商賣も披々割に合はぬものかなと嘆息に堪へざるみとならん實際の事實にして少しまるく心を離にして考ふるとき何人も之を認むる苦なれども浮世の俗情より見るときは昨日まで民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走したるもののが今日は堂々たる政府の大

臣とは蘇入たる次第なり斯る無造作のものでは民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものは無論、或は更らに一步を進めて世の道は是非とも政治に限るとして遂に一時の熱を催すは無論、或は更らに一步を進めて同窓同鄉もしくは舊來懇意なきの縁故を云々ならんには政治商賣も甚だ面白し否な立身出で民間の一書生、何々政黨員などして世間に奔走するものが今日あるを致したものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ幸苦難を同うして今日あるを致したものにして或は其輩の中にも所謂職官の志願甚だ多年來の窮境その窮と與にしたるは單に自家の妻子のみならず即ち幾多の黨員毀はれもは堅しむに足らず特に新内閣は從来の官員をされどは自から其勞に酬いざる可ならず勿論に奔走するものは勿論考へたふともない然るに小供がアノ通り道に居るほど途方もない工藝の進んだ場所だと思ふやうな事ばかりして俗な事ばかり考へて居て年を取ても兎角手先きの細工事が面白くて動もすれば飽だの鑑な買集めて何か作つて見やうと云ふ美術と云ふ思想は少しも無い、平生萬事至極豪風景で衣服住居などに一切頗着せず如何といふ家に居てもドンナ着物を着ても何とも思はぬ着物の上着か下着かソレ構はぬ況して流行の模様などを考へて見たふともない程の不風流なれど何か私に得意があるかと云ふは田舎ながら手に少し織文のある織から自然に養ふ意匠でせう

